

小野町議会議員一般選挙

【告示日】 1月22日(火)

※立候補届出受付 時間/午前8時30分～午後5時 場所/小野町役場(第一会議室)

【投票日】 1月27日(日)

※投票 時間/午前7時～午後7時 場所/町内8投票所

【選挙会】 1月27日(日)

※選挙会(開票) 時間/午後8時～ 場所/小野町多目的研修集会施設(大ホール)

【期日前投票・不在者投票】 1月23日(水)～26日(土)4日間

※期日前投票 時間/午前8時30分～午後8時 場所/小野町役場(応接室)

◆問い合わせ 選挙管理委員会事務局(総務課内) ☎72-2111

活力ある地域づくり事業

小野町行政区長会研修 新潟県中越地震の被災地を視察

10月11日に活力ある地域づくり事業として、小野町行政区長会では「災害時における自治会の役割」について研修するため新潟県川口町を訪問しました。川口町は、平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震の震源地で、死者6名、家屋の全壊601棟、道路の損壊373箇所など甚大な被害を受けました。

研修では、担当の職員から被災の状況、避難所生活、復興への取り組みなどについて説明を受けたあと、意見交換を行いました。

○川口町の被災直後の状況

◆道路 町内すべての道路が通行不能となり町が完全に孤立した。主要道路が通行できるまでに3日を要した。

◆電気・ガス 電気、ガスなどすべての使用が停止。電気の復旧に1週間、ガスの復旧には1ヶ月を要した。そのため、電気が復旧するまでは、電話機、防災無線が使用できなくなつたため情報の収集及び町民への情報の伝達は、各地区の自治会の会長が窓口となり口頭により行った。

○避難生活

◆避難所 避難所については、当初町が指定した施設としたが受け入れ者数の限度、プライ

バシーの確保、身体的ストレスを訴える者の増加などを考慮して、指定場所以外も避難所とした。避難所生活では、プライ

バシーの確保、身体的ストレスの解消が最大の課題であった。被災者の心身のケアは、ボランティアの医療チームが主体となり行った。

◆食生活関係 飲料水とトイレの確保が困難だった。食事は、数世帯ごとに集まり食材を提供しあひなかり行った。

◆救済物資の支給 避難者に平等に分配するという観点から必要な物資の不足とあひなかり結局、配ることのできない物資が多くあった。

○復興への取組み

平成17年2月1日に町震災復興対策本部を設置し、行政と町民が一体となり、復興に取り組んできた。



倒壊した家屋



○常日頃の地域内のふれあいが大切

震災の被害を最小限に抑え、そして復興のためには、「自助」「公助」「共助」の連携が必要と言われますが、今回の研修を通して川口町の事例で最も大切なのは「共助」であるとのことでした。地域住民の方々がお互いに思いやり、助けあふ事ができたのは、常日頃の隣近所、地域内での密接なふれあいと地域つきあいがある区域は、早く復興に取り組む事が出来たものです。また、激甚災害のような場合は、2、3日は自分で生活を保持する心構えが重要であるとのことでした。2、3日過ぎれば役場・警察等の救助が到着します。それまでは、自力で生きる覚悟が必要とのことでした。

災害に際し、常日頃の近隣住民相互の意思疎通、近所つきあいが一番大切であることが再認識された研修でした。